

きつつきの商売

○音をきいて、動物たちはどんな気持ちになったでしょうか。したことや言ったこと、音を聞いた後の様子ながら考えて、書いてみましょう。

おきやくさんがきて
くれてよかった。もっ
とたくさんのおきや
くさんにきてもらい
たいな。

きれいな音なあ。
ほかの音もきいてみ
たいな。すてきな店が
できてよかった。友だ
ちにもおしえてあげ
よう。

これは答えの一例です。自分の考えたことがかけていれ

ばいいです。このプリントは、学校で丸つけをします。

こんなによろこんでくれ
るなんて、うれしいなあ。
もっとよろこんでもらい
たいなみんながよろこん
でくれるようにがんばろ
う。

子どもたちがよろこんで
くれてよかった。うわさ
どおり、いいお店だ。雨だ
ったけど、とってもすて
きな一日になったぞ。ま
たきたいな。

【チャレンジ！】

○なぜ、雨の音は「ただ」だったのでしょうか。
・めにゆーにするかしないかまよっているから。

・新メニューだったからおためし

・自分は何もしてないから。

・雨の日しかできないから、とくべつ。

・雨の中せっかく来てくれたから。

○1の場面と2の場面で、かわったことはどんなこ
とでしょう。

・1の場面ではお店を開いたばかりでたくさんのお
きやくさんに来てもらいたいとおもっていたのが、
2の場面ではお客さんによるこんでもらいたいとい
う気持ちが強くなっている。

登場人物 (お客さん)	場所や 天気	出来事	どんな音
友だちのふくろう	月のきれいな夜 となりの森にできたホテル	ホテルを開きようしたともだちのふく ろうをおいおいするために、きつつき は、となりの森にいつて音をきかせた。	いろいろな木をあつめて曲をえんそ うした。